



群会議でハガキを書く (杉並)



総会終了後、先行訴訟、新規訴訟の原告が集合し団結を固めた

新規訴訟に向け原告団結成 他産業ならリコール

【本部・田村彰宏 記】日頃より、私たちの「命の綱」建設国保の安定運営に向けた、国保組合の国庫補助金獲得の取り組みに際し、ハガキ要請や議員要請などにご協

力いただき、仲間の皆様・家族の皆様へ感謝を申し上げます。さて私たちの建設国保は、仲間が支払う保険料と国・東京都からの補助金で運営されています。毎年、厚生労働省や財務省・都に対し補助金確保のハガキ要請を行なっており、東京土建では組合の仲間一人4枚以上を目標に、お願いしています。昨年は国には全国から240万8

700万円を確保しました。ハガキ要請運動は、1970年建設国保を設立した年から運動してきた歴史のある運動で、財政面で建設国保を育

ハガキ要請に協力を

国保の補助金確保のために

この日はステージの横に、62万筆超の「憲法改悪を許さない」として沼田透さん(2陣・小

成・強化する側面を持っています。仲間の皆さんからは、このハガキ要請に関して「毎年や



川合事務局長(左)に募金の目録を渡す山本委員長(中央)と高瀬会長

生活は楽ではありません。が、戦争で被害を受けている人々を支援できないかという事で取り組まれています。述べ、支部での平和や憲法を守る活動も話しました。

5月14日、けんせつプラザ東京で首都圏建設アスベストの建設国保の原告団結成総会が開かれ、原告、弁護団、支援組合の仲間139人が出席し、新たな闘いへの決意を固めました。冒頭、

「何としても勝利する」原告団役員の紹介の後、代表して沼田透さん(2陣・小

板橋支部では、ウクライナの人道支援募金に4月から取り組み、集まった60万円をUNHCR(国連難民高等弁務

ある事務所を訪ねました。1カ月という短期間にもかかわらず、異例といえるほどの多額な募金が寄せられました。ウクライナの状況が盛んに報道されたこともあり、山本委員長は「建設に携わる私たちの組合員もコロナや建設資材の高騰などで収入が減り

金井国分寺)が発言。「またガンが見つかり、手術するか検査を続けるかという状態。自動車ならリコール、食品なら自主回収と他産業の企業はやってるが、建材メーカーは日本中にアスベストをばらまいておきながら何もしていない。この訴訟は何としても勝たなくてはいけない」と力強く訴えました。



参加議員らに署名を手渡す

敵基地攻撃能力保有等の動きに断固としてストップをかけよう。武力ではないう平和憲法による日本の安全保障をつくり出そう」などとあいさつしました。

5月13日、新宿駅西口地下で、国民春闘共闘、全労連に結集する労働組合のメンバー150人(東京土建は8人)で、「最低賃金全国一律1500円、1日8時間働けば誰でも人間らしい生活ができる賃金」と訴える宣伝行動を行いました。この宣伝行動は、今年10月の最賃決定まで、毎月15日を中心に全国の駅頭で行なっています。

核共有、敵基地攻撃でなく 平和憲法で安全保障

5月19日、国会議員会館前で月例の戦争させない・憲法9条壊すな!総がかり行動が行なわれ、750人(東京土建は55人)の市民が集結しました。

ウクライナ支援募金を UNHCRに届ける

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)・日本委員会に送り、5月19日に、山本清志委員長、高瀬佳江女性の会長、竹腰隆樹主任書記で南青山に

国民春闘

8時間労働で人間らしく 全国一律1500円に

低賃金学習レテオのパブリックビューイングを行ないました。音の宣伝だけでなく、大スクリーンを使ったことで道行く人の注目度はアップ。その後、4人の弁士が発言。出版労連の代表は、最賃すれすれの低賃金でワゴン(1000円)の屋敷を強いられる労働者もいる現状で労組に組織化し、有給休暇を勝ち取るなどの成果をあげてきたが、最賃大幅引き上げがなければ労働条件の根本的な改善はできないなどと、スピーチしました。